

社に歴史あり、人に文化あり。 ～鎮守の森と巨木巡り 吉備高原南端を歩く～



岡山県森林インストラクター会 第8回自然観察会

2018(平成30)年10月14日(日)、総社市昭和地区の^{おおぞう}大蔵神社(種井地内)・^{おんざき}御前神社(延原地内)周辺を舞台に第8回自然観察会を開催しました。過去最多の一般参加者44名、会員10名の参加を得て無事終了しました。



昭和公民館富山分館にて開会式を行い、その後、車に分乗して高間キャンプ場へ向かいました。

ここから4つの班に分かれ、午前は大蔵神社のカゴノキの巨木を目指し吉備高原南端の自然を楽しみ、高間キャンプ場にもどり昼食をとりました。午後は再び車に分乗し御前神社へ移動し、県郷土記念物に指定されているアカガシ・タブノキを中心とした社叢と隣接地にある“摩利支天のイヌグス(タブノキ)”の巨木を森林インストラクターが案内しました。

午前の種井地区では、自然だけではなく点在する住居の空家化・多数の不耕作地など中山間地域の限界集落の現状も見ていただき、昼食時には、サプライズで中島副会長による有害駆除で捕獲された猪の暖かい汁のサービスもありました。

午後の御前神社では、秋の大祭で2年に1度開催される備中神楽の奉納がされており、地元地区の方との交流もありました。観察会のテーマである“郷土の社と人との絆”の一端を感じていただけたのではないかと思います。

今回は、開会式・午前・午後で会場が全て異なる変則的な開催となりました。また平成27年から森林インストラクター会で取り組んだ『岡山の巨樹老樹名木調査』の成果も組み込んだプログラムとしました。

自然観察会は会員の研鑽・交流の場ともなりますので、ぜひ皆様も積極的にご参加ください。

また、スタッフとしてのご参加・自然観察会の開催地区のご推薦があればよろしく申し上げます。



後 援 岡山県、総社市、
NPO 法人フォレストフォーピープル岡山
実行委員会 委員長 梶原利廣
委 員 安東孝師、大橋日出男、栢野奈実恵、諏訪岳憲、
松田知弘、水野裕司、横林英記

(五十音順)

会 長 宮畑修治

役 員 黒瀬勝雄、高橋謙治、田中康敬、中島嘉彦

**“おかやま森づくりサポートセンター”「県民が育て楽しむ森づくり活動支援事業」の
支援を受けて実施しました。**

《過去の開催》

- 第1回 2011(平成23)年10月30日(日) 金ヶ谷山登山道付近 (新庄村)
- 第2回 2012(平成24)年5月20日(日) 金ヶ谷山登山道付近(新庄村)
- 第3回 2013(平成25)年9月29日(日) 岡山県立森林公園(鏡野町)
- 第4回 2014(平成26)年9月28日(日) 王子が岳(玉野市)
- 第5回 2015(平成27)年9月27日(日) 若杉天然林(西粟倉村)
- 第6回 2016(平成28)年10月2日(日) 荒戸山(新見市)
- 第7回 2017(平成29)年10月14日(土) 熊山(赤磐市・備前市)